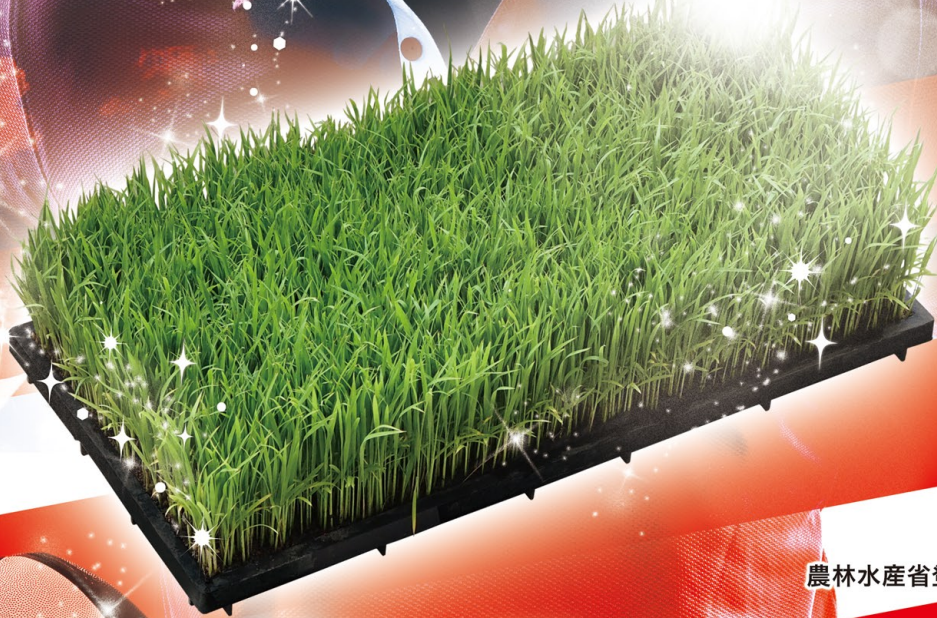


すべては秋の勝利のために 苗作りのルーティンワーク!



農林水産省登録 粉剤:第10760号
液剤:第10331号

殺菌剤分類 32

タチガレン[®] 粉剤・液剤

ヒドロキシイソキサゾール粉剤・液剤

タチガレン[®] 粉剤 は種前
育苗箱土壤に混和

1kg入
パック = = **125枚分** ※1

3kg入
パック = = **375枚分** ※1

※1 育苗箱1箱(土・約5L)あたり8g使用した場合

タチガレン[®] 液剤 は種時または発芽後
土壤灌注

100ml
ボトル = = **100枚分** ※2

500ml
ボトル = = **500枚分** ※2

※2【上手な使い方】苗箱1枚あたり、タチガレン液剤1ml分が灌注されるように使用。
例) 500倍で使用する場合は500mlの薬液を灌注。1000倍で使用する場合は1000mlの薬液を灌注。



無処理

処理

第2葉鞘
の高さに
注目!

根が増え、
太くなり
ます!



農林水産省「稲発酵粗飼料
生産・給与技術マニュアル」
に記載された農薬です。



三井化学クロップ&ライフ
ソリューション株式会社

タチガレン粉剤

農林水産省登録 第10760号

ヒドロキシイソキサゾール…4.0% 毒性：普通物*

*「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

2023年3月31日現在

作物名	適用病害名 使用目的	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ヒドロキシイソキサゾールを 含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	根の生育促進、移植時の発根及び活着促進 ムシ苗防止	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L) 1箱当たり4~8g	は種前	1回	育苗箱土壌に均一に混和 する。	3回以内 (移植前の土壌混和は1回以内、移植前 の土壌灌注及び灌注は合計2回以内)
	育苗箱(フザリウム菌・ビシウム菌)	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L) 1箱当たり3~6g				
稲 (畑苗代)	根の生育促進、移植時の発根及び活着促進 苗立枯病(フザリウム菌・ビシウム菌)	50~100g/m ²			深さ5~10cmの苗代土壌に 均一に混和する。	
稲 (折衷苗代)	苗立枯病(フザリウム菌・ビシウム菌)					
稲 (湛水直播)	根の生育促進による苗立の安定	乾粒重量の3%	過酸化カルシウム剤に添加 して種子に湿粉衣する。	1回		
てんさい	苗立枯病	250~500g/10a 分の床土(400kg)	は種前	1回	土壌混和	5回以内(種子粉衣は1回以内、育苗土壌 への混和は1回以内、灌注は3回以内)
すいか	苗立枯病	50~75g/床土 50L	は種時	1回	育苗用土壌に均一に混和 する。	2回以内(育苗土壌への混和は1回以内、 苗床への灌注は1回以内)
ほうれんそう	立枯病、根腐病	40kg/10a	は種3日前~直前	1回	全面土壌混和	1回
たばこ	舞病	5kg/10a	移植前	-	畦土壌表面処理	-

タチガレン液剤

農林水産省登録 第10331号

ヒドロキシイソキサゾール…30.0% 毒性：普通物*

2023年3月31日現在

作物名	適用病害名 使用目的	希釈倍数	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ヒドロキシイソキサゾールを 含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	苗立枯病(フザリウム菌・ビシウム菌) 根の生育促進、移植時の発根及び活着促進 ムシ苗防止	500~1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L) 1箱当たり500mL	は種時又は発芽後	2回以内	土壌灌注又は灌注	3回以内 (移植前の土壌混和は1回以内、移植前 の土壌灌注及び灌注は合計2回以内)
	砂壌土、高温、低温又は高密度は種苗に おける水稲用除草剤起因の生育抑制軽減 ごま葉枯病	500倍		移植5日前~移植前日	1回	灌注	
	苗立枯病(フザリウム菌・ビシウム菌) 根の生育促進、移植時の発根及び活着促進 ムシ苗防止	1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L) 1箱当たり1L	は種時		土壌灌注	
	ごま葉枯病			は種時又は発芽後	2回以内	土壌灌注又は灌注	
稲 (折衷苗代)	苗立枯病(フザリウム菌・ビシウム菌)	500倍	1L/m ²	は種直後又は発芽後	2回以内	土壌灌注又は灌注	3回以内 (移植前の土壌混和は1回以内、移植前 の土壌灌注及び灌注は合計2回以内)
稲 (畑苗代)	苗立枯病(フザリウム菌・ビシウム菌) 根の生育促進、移植時の発根及び活着促進	1000倍	3L/m ²	は種直後	1回	土壌灌注	
キャベツ	ビシウム腐敗病	1000倍	セル成型育苗トレイ1箱または ペーパーポット1冊(30×60cm・ 使用土壌約3.0~4.0L) 当り 0.5L	出芽時~育苗期	3回以内	土壌灌注	3回以内
レタス	パーティシリウム萎凋病	1000倍	250mL/株	定植時	1回	株元灌注	1回
すいか	苗立枯病	500~1000倍	3L/m ²	は種直後	1回	苗床灌注	2回以内(育苗土壌への混和は1回以内、 苗床への灌注は1回以内)
きゅうり	苗立枯病(フザリウム菌・ビシウム菌)	500~1000倍	3L/m ²	は種直後	3回以内	土壌灌注	3回以内
メロン	苗立枯病(ビシウム菌)	500倍	3L/m ²	は種時	1回	全面土壌灌注	1回
ほうれんそう	立枯病	500~1000倍	3L/m ²	は種時	1回	土壌灌注	1回
		1500~3000倍	9L/m ²				
		50~100倍	300mL/m ²				
オクラ	苗立枯病(ビシウム菌)	500~1000倍	50~200mL/株	は種時~発芽初期	2回以内	種穴又は株元灌注	2回以内
さやいんげん	白絹病	500倍	1L/m ²	収穫14日前まで	3回以内	土壌灌注	3回以内
さやえんどう	根腐病	500~1000倍	3L/m ²	は種後及び生育期 但し、 は種後1~2か月後まで	3回以内	は種穴又は 株元に土壌灌注	3回以内
実えんどう	立枯病	500倍	200mL/株	は種後及び生育期 但し、 は種後1~2か月後まで	3回以内	は種穴又は 株元に土壌灌注	3回以内
未成熟そらまめ	立枯病	500倍	200mL/株	は種後及び生育期 但し、 収穫30日前まで	3回以内	は種穴又は 株元に土壌灌注	3回以内
てんさい	苗立枯病	500~1000倍	ペーパーポット1冊当たり1L	は種時~生育初期 但し、 収穫120日前まで	3回以内	灌注	5回以内(種子粉衣は1回以内、育苗土 壌への混和は1回以内、灌注は3回以内)
			3L/m ²				
みずな	立枯病	500倍	3L/m ²	は種時	1回	土壌灌注	1回
みぶな	立枯病	1000倍	3L/m ²	は種時	1回	土壌灌注	1回
みつば	根腐病	2000倍	100~300L/10a	収穫14日前まで 但し、伏せ 込み栽培は伏せ込み前まで	1回	散布	1回
いちご	苗の発根促進、活着促進	1000倍	-	挿し芽採取時	1回	30分間挿し芽浸漬 土壌灌注	2回以内(挿し芽採取時の浸漬処理は1回 以内、挿し芽時の土壌灌注は1回以内)
			1.5L/育苗培養土 5L	挿し芽時			
たばこ	舞病	1000倍	100mL/株	移植時及び大土寄せ時	2回以内	株元灌注	2回以内
カーネーション	立枯病	500倍	3L/m ²	定植時及び活着後	3回以内	土壌灌注	3回以内
アイリス	白絹病	1000~2000倍	3L/m ²	定植時及び生育期	6回以内	土壌灌注	6回以内
さく	発根促進	1000倍	5~10L/m ²	挿し芽直後	1回	土壌灌注	1回
林木(苗木)	立枯病	500~1000倍	3L/m ²	は種覆土直後	1回	苗床全面灌注	1回
西洋芝 (ペントグラス)	赤焼病 ビシウム病	500~1000倍	2L/m ²	発病初期	4回以内	散布	6回以内
		250~500倍	0.5L/m ²				

○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。○容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。○防除日誌を記録しましょう。

*本製品は農業用殺菌剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。*本印刷物は2023年3月31日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

取扱い



**三井化学クロップ&ライフ
ソリューション株式会社**

東京都中央区日本橋1-19-1 日本橋ダイヤビルディング
ホームページ <https://www.mc-croplifesolutions.com>